

チャレンジ！！オープンガバナンス 2021 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	34-23-1	兵庫県三田市を舞台とした定住人口・交流人口・関係人口の増加戦略	兵庫県 三田市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	関係人口から定住人口へ 三田市への U・I・J ターン増加戦略		

（注1）地域課題タイトルは、COG2021 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	岸上研究室 三田プロジェクト		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	5名		
代表者（公開）	川田 彩乃		
メンバー（公開）	青木萌	味地泉実	廣津鈴菜 宮武 莉子

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2021_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2021 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2021@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示—非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

<b style="color: red;">アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認	○
--	---

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

- ・デザイン思考プロセスの共感から地域の潜在的魅力や資源を発信できていないことを発見する。
- ・Z世代の視点で地域の歴史や現状、課題含めた地域理解が薄い中、人々は三田市を勤務先や居住先にする意義を感じにくいと気付いた。
- ・行政と学生が連携し、三田市への問題意識に対して生まれる共通価値から課題解決策の実現性を高める。

「関係人口から定住人口へ 三田市への U・I・J ターン増加戦略」

<この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

三田市（再）発見&地域理解促進「三田インターンシップ」 ～デザイン思考でイノベーション実現～

「三田インターンシップ」実施にあたり、三田市外在住の女子大生がインターンシップに参加するきっかけづくりが必要である。そこで、「個人の関心度に応じたプログラム選択」「大学で学んでいる分野に関連した内容」「参加ハードルが高くないインターンシップ形式」これら3つのポイントを意識し、対象への共感を試みた。

「三田インターンシップ」

(1) 講義型出張 1DAY インターンシップ

日時：2022年1月上中旬予定、1日かけて午前と午後1回ずつ全2回同じ内容で実施

学生の学業上の都合を考慮し午前の部と午後の部に分けて2度行う

場所：神戸親和女子大学

対象：神戸親和女子大学の学生

協力：三田市役所、神戸親和女子大学キャリアセンター

選考：先着順、定員は午前午後合わせて30名

内容：公務員業界や市役所職種研究、三田市役所の2つの部署の職務内容の説明、座談会

現時点では経営管理部 行政管理室 ICT推進課 スマートシティ推進係（以下、経営管理部）と学校教育
部 学校教育課 指導担当（以下、学校教育部）を予定

説明の途中でグループワークやディスカッションの活動を複数回取り入れる

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(2) 体験型三田市役所 3DAYS インターンシップ

日時：2022 年春季休暇予定、各部署 3 日間ずつ別日程、10 時～16 時で実施

場所：三田市役所、交通費大学負担

対象：(1) 講義型出張 1DAY インターンシップ参加者の内、全 3 日間の参加が可能な学生

協力：三田市役所、神戸親和女子大学キャリアセンター

選考：先着順、定員 10 名…各部署 5 名

内容：

〈DAY1〉各部署の現状を知るための講義や職場見学、職務体験

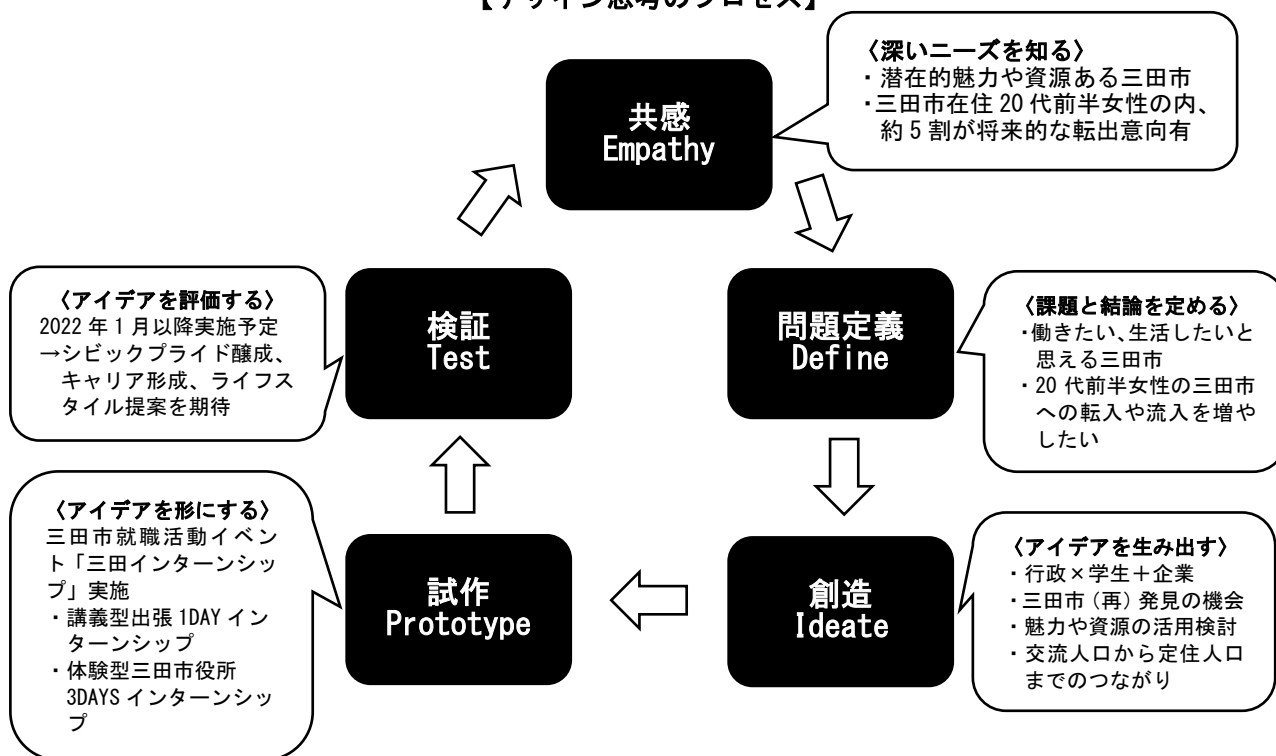
〈DAY2〉各部署独自のテーマに沿った課題解決策の企画と提案

(例) 経営管理部の場合、スマートシティ（「さんだ里山スマートシティ」）のアイデア構想

学校教育部の場合、市立学校の生徒指導・学校保健関連のアイデア構想

〈DAY3〉インターンシップ総括（プレゼンテーション・フィードバック・振り返り）

【デザイン思考のプロセス】



出所：スタンフォード大学ハッソ・プラットナー・デザイン研究所

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュ

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

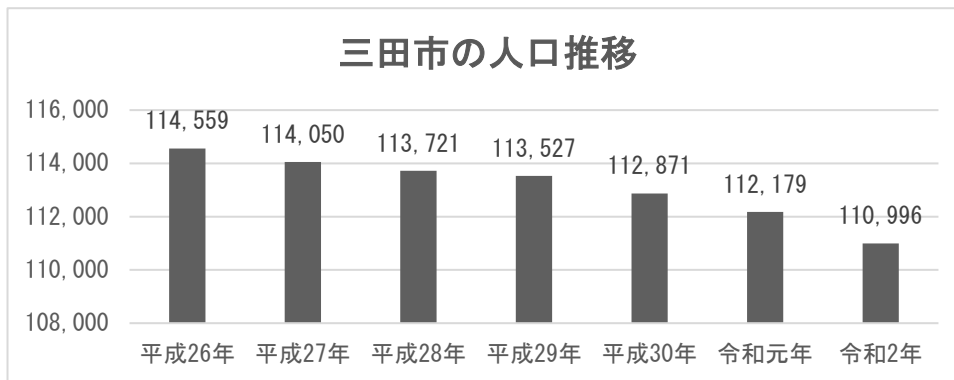
ユー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>

① アイデアの必要性：三田市の関係人口を図るべき地域現状と課題

- ・三田市の人口推移について、平成26年以降、毎年人口が減少している。



出所：三田市『三田市統計書令和2年版 1人口』、2021/12/20

<https://www.city.sanda.lg.jp/soumu/toukeisho.html>

- ・常住人口について、平成2年から平成22年までは増加していたが平成27年は一転し平成22年と比較して1,525人減少した。また、流出口について、平成2年から平成7年までは増加していたが平成12年から平成27年までは横ばい状態である。一方で、昼間人口及び流入人口は平成2年から平成27年まで一貫して増加している。

1.2 常住人口、流出・流入人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移

(各年10月1日現在)

年次	常住人口	昼間人口	昼夜間人口比率(%)	流入人口	流出口	流出超過
平成2年	64,560	63,006	97.6	8,451	10,005	1,554
7	96,244	85,793	89.0	15,310	25,761	10,451
12	111,622	98,382	88.1	16,963	30,203	13,240
17	113,256	102,134	90.2	18,940	30,062	11,122
22	114,216	103,098	90.3	19,403	30,521	11,118
27	112,691	104,106	92.4	21,442	30,027	8,585

資料：国勢調査

注)年齢不詳を除く

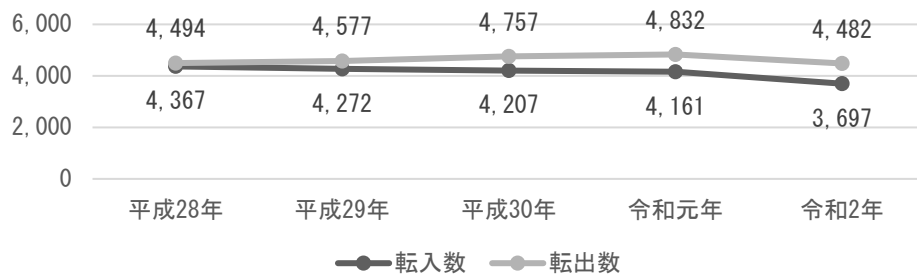
出所：三田市『三田市統計書令和2年版 1.2 常住人口、流出・流入人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移』、2021/12/20

<https://www.city.sanda.lg.jp/soumu/toukeisho.html>

- ・将来的な20代女性の転入減少と転出増加への懸念

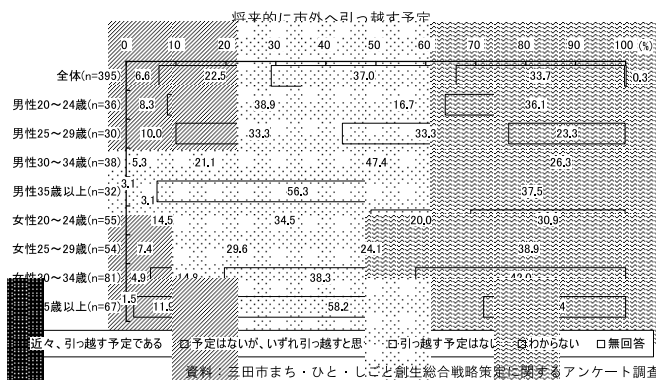
三田市の人口動態について、令和2年は過去4年と比較して転入数と転出数の差が開いている。転入数は減少し転出数は増加傾向にある。

三田市の転入人口と転出人口推移



出所：三田市『三田市統計書令和2年版 6人口動態』、2021/12/20
<https://www.city.sanda.lg.jp/soumu/toukeisho.html>

・『三田市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に関するアンケート調査』によると、将来的な転出意向を性別・年齢別に見たところ 20～29 歳男性と 20～24 歳女性は 40%を超えている。特に、20～24 歳女性は約 5 割の 49.0%が将来三田市から転出する意向を示す。



出所：三田市『三田市人口ビジョン（人口の動向と今後の見通し）』、2021/12/20
https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_jouhou/sonohoka/opendata/documents/jinkoubijyon.pdf

② アイデアの効果：将来的な三田市の姿

三田インターンシップの中で「講義型出張 1DAY インターンシップ」参加者を三田市の交流人口、「体験型三田市役所 3DAYS インターンシップ」参加者を三田市の関係人口と仮定する。その場合、三田インターンシップ規模が拡大する程、より多くの三田市外在住の女子大生が地域を知り、三田市の魅力発信に貢献すると言える。「(1) アイデアの内容」に基づき、一度のインターンシップで三田市の交流人口は 30 人、関係人口は 10 人増加。活動を安定的かつ継続的に拡大していくことを前提に三田インターンシップは毎年開催、毎回参加枠数を増加し続けた場合、近年上昇傾向にある昼間人口や流入人口増加の促進を図ることができる。将来的には三田インターンシップで増加した三田市の交流人口・関係人口による生活やビジネス価値の創出を期待する。

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

「三田インターンシップ」実現までの流れ

時間軸	実現する主体	ヒト	モノ	カネ
		<ul style="list-style-type: none"> ●三田市役所職員 ・三田インターンシッププログラム内容の詳細決定 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報：内容詳細 ・キャリアセンターやプロジェクトに共有 	
2021年12月25日 土曜日～2022年1月6日 木曜日 (神戸親和女子大学 冬季休暇期間)		<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアセンター ・「講義型出張 1DAY インターンシップ」 学内参加募集 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報：学内募集 ・学生ポータル サイトやキャリア センターTeams チャンネルを通じ、 発信 	
2022年1月	三田インターン シップ「講義型出 張 1DAY インター ンシップ」	<ul style="list-style-type: none"> ●三田市役所職員 ・「講義型出張 1DAY インターンシップ」 実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●機会：講義 ・1日間/大学内 /学内生 30名 ・業界や職種研 究、職務内容説 明、座談会 	
		<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアセンター ・「体験型三田市役 所 3DAYS インター ンシップ」案内募集 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報：案内募集 ・学生ポータル サイトやキャリア センターTeams チャンネルを通じ、 発信 	

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

			・対象：「講義型出張 1DAY インターンシップ」参加者	
2022年2月	三田インターンシップ「体験型三田市役所 3DAYS インターンシップ」	<ul style="list-style-type: none"> ●三田市役所職員 ・「体験型三田市役所 3DAYS インターンシップ」実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●機会：体験 ・3日間/三田市役所内/学内生 10名 ・講義、職場見学、職務体験、課題解決策企画提案 	<ul style="list-style-type: none"> ●学生の交通費 ・参加学生の最寄駅から三田駅までの往復運賃 ・神戸親和女子大学が交通費支給

開催側である三田市役所と神戸親和女子大学の反省点や参加側である神戸親和女子大学の学生の意識調査を踏まえて改善活動を行い、次回の三田インターンシップ実施の中で活かす。

